



目次

地域連携関連	1
病診連携施設紹介	2
看護部だより	3~4
栄養相談室	5
ア・ラ・カルト「メタボリック症候群」	6~7
脳神経外科のご案内	8
助産師外来のご案内	9
催しもの「運動会」・「環境美化ボランティア募集」・患者数 ..	10
外来医師担当表／編集後記	11

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構
発行責任者：長沼博文
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35
電話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>
Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp



「甲府城に懸かる中秋の名月」

「中秋」とは、旧暦8月15日（今年は9月25日がその日にあたりました）のことで、このときの月が一年でもっとも美しいといわれるため「中秋の名月」と呼ばれています。かつて、その美しさから「舞鶴城」と称され、栄華を誇った甲府城に、その「中秋の名月」が懸かるさまは、まさに名曲「荒城の月」を思わせる光景といえるでしょう（管理課庶務係 山田 昌弘）



独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

1 基本姿勢

患者さまの目線に立ち、優しさと思いやりをもって病める人々が心を癒し、病を回復し健康を維持されるよう努めます

1 政策医療と地域医療

成育、重症心身障害を中心に当院で提供する全ての医療を政策医療として位置づけ、国民の健康と安全に寄与すると同時に、地域医療として山梨県民の皆様に還元し、県民に選ばれ、お役に立てるように日々努力します

1 患者様の権利

患者さまの平等で適切な医療を受ける権利、知る権利、選ぶ権利を守ります

1 研究と教育

全ての医療職種に貢献できる質の高い臨床研究と教育研修の推進に努めます

1 安定した経営

たゆまぬ意識改革を行い、独立行政法人として安定した経営を目指します

地 域 連 携 関 連

「認知症の画像診断」講演会のお知らせ

長かった夏もようやく終わりを告げ、朝夕はずいぶんと過ごしやすくなってまいりました。さわやかな季節を迎え、皆様ご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、この度、国立病院機構甲府病院におきまして

「認知症の画像診断」

と題し、“埼玉医科大学 国際医療センター 核医学科教授 松田博史先生”による講演会を開催いたします。

現在、認知症の診断を支援するシステムとしてRI検査を用いた「e-ZIS」、MRI検査を用いた「VSRAD」などが利用されております。これらを用いることにより、症状がほとんどみられない早期の認知症の診断能が格段に向上しました。今回は、システムの作成において中心的な役割を果たされた松田先生に特別にお願い致しまして、認知症の画像診断についてわかりやすく解説していただきます。

認知症の診断には核医学検査による脳機能評価が有用といわれていますが、検査装置等は高額であり、装置を保有する施設が限られています。これらの有用な装置を有効に活用する体制を作ることにより、高次脳機能障害の診断に対する地域医療のレベルを向上させることが可能であると考えております。

なお、聴講の対象につきましては、誠に勝手ながら、病院、医院の先生方、放射線技師及び当院の職員に限らせて頂きます。

ご多忙中とは存じますが、ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日	時：平成19年11月30日(金)	18時～19時
場	所：国立病院機構甲府病院 大会議室	
対	象：案内状をお送りした施設の先生方、放射線技師 及び 当院職員	
参 加	費：無 料	

お問い合わせ先：国立病院機構甲府病院 放射線科
 電話 055-253-6131 (代表)
 内線 7073 立道 信宏 技師長 まで

病 診 連 携 施 設 紹 介

湯本内科小児科医院

院長 湯本 星華

勤務医生活から、40歳になったので、独立開業と踏み切ったのが、1967年(昭和42年)、そして今年(2007年)ですから、開業歴40年ということになります。その間次々と襲ってくる病に、不思議と生き長らえて80歳を迎えたことは幸運です。

友人から「お前のように、病気ばかりしている奴は、見たことない」別の友人には「もう病気するところは、残っていないのでは」とからかわれた。たしかに、とくに終わった人生を、現代医学の恩恵で生きつづけていることはたしかです。

それはさておき、1976年(昭和51年)、近くにあった障害児童の養護施設「あけぼの学園」が韮崎市に移り、その跡地に「障害者養護施設 県立きぼうの家」が設立。嘱託医を委託され30年がたちました。

開設当初は脳性麻痺・筋ジストロフィーの若い人が主でしたが、だんだん年をとり、以前は老人になると、老人の施設に移ったのですが、今は年齢制限なしの状態で老人が多くなりました。したがって病気も多様になってまいりました。

以前は重症患者を病院にお願いしようとしても、引き受けてくれる病院がなくて大変困ったことが多かったです。

しかし次第に救急医療の体制が改善され、重症患者を抱えて途方にくれるということが無くなって大変ありがたいことです。

特に国立甲府病院にはお世話になり、なにか事があると第一にお願いしております。

私は高齢で、日進月歩の医学や世の流れについてはいけませんが、地域の人たちのホームドクターとして、少しでも役に立てればと思っています。



湯本内科小児科医院スタッフ(右から二人目が湯本院長)



湯本内科小児科医院外観

診療時間

- 午前 9:00~12:00
- 午後 5:00~6:00

往 診

- 午後 1:00~5:00

※但し、水曜日及び土曜日は午前中のみ診療
日曜・祭日 休診

住 所/〒400-0071 山梨県甲府市羽黒町974
電 話/055-253-3877

看護部だより

就職して半年経ちました……

4月に就職した新人看護師達も、半年が過ぎ立派に成長しています。この半年を振り返り、各職場の新人看護師代表に感想を述べてもらいました。

赤ちゃんに癒されながら

2病棟 小林 真由美

私は山梨県立看護大学短期大学部を卒業し、高度周産期医療センター(GCU・NICU)に配属されました。新しい環境になかなか慣れず緊張している中、先輩はどんな些細なことでも一つずつ丁寧に教えてくれます。失敗しても優しく励ましてくれます。自信のないことは自信がつくまでフォローしてくれます。毎日の経験が新しいことで、戸惑いは多いですが、日々勉強し成長させてもらっています。



半年を振り返って

3病棟 北守 菜穂子

私は山梨県出身ですが看護学校は他県に進学しました。3年振りに山梨県に戻り周囲の環境や方言等がとても懐かしく感じました。

甲府病院に就職して半年が経ち、当初解らない事ばかりで戸惑う毎日で、不安もありましたが周囲の人達の支えで少しずつ慣れることが出来ました。また患者の皆様から励ましや「ありがとう」の言葉をもらい、看護のやりがいを感じました。まだまだ未熟な私ですがいろいろな経験を重ね、患者の皆様役に立てる看護師になりたいです。



あこがれの職場で

4病棟 雨宮 美沙子

私は今年の4月から独立行政法人国立病院機構甲府病院4病棟で働いています。

この病院は山梨県立看護大学の看護学生の時にも、実習でお世話になっていました。実習の際に、スタッフの患者への対応や、学生に対する熱心な姿勢に感動し、この病院に就職を決めました。働いてみてもやはりスタッフの看護に対する思いは熱く、良い環境で働いていることを心から感じます。

就職して半年が経ちました。今はまだまだ知識・技術が足りず勉強する毎日ですが、自分でできること、分かることが増えたり、患者さんとの関わりの中で少しずつ看護する楽しさを感じてきているところです。大変と思うこともありますが、一人前の看護師になれるようにこれからも頑張ろうと思います。



重症心身障害病棟に勤務して

6病棟 浅野 沙織

就職してから半年が経ちました。就職当初は業務を覚えることに追われていた毎日でしたが、少しでも心にゆとりができてはじめてところです。重症心身障害の皆様は、言語的コミュニケーションの難しい方がほとんどです。皆様の思いや望みを理解するためには五感を働かせて観察していくことが重要であり、その難しさを日々感じています。そして訴えがわかったときや、一人ひとりの笑顔を見ることができるとやりがいも感じます。今後も初心を忘れず、看護していきたいと思っています。



半年経っての感想

手術室・中材 長田 知恵美

就職して半年が経ち、手術室で任される業務も増えてきました。就職当初は何をどう学んでいいのかわからず、ただ仕事を覚えたいという気持ちが強かったと思います。そんな中、根拠に基づいた手術看護を、正確にテキパキとこなす先輩の姿に刺激され「私もあになりたい」と憧れるようになりました。今は、先輩看護師の方々から勉強の仕方や技術等のアドバイスをもらい、焦らず一つひとつ確実に知識・技術を身につけていけるように頑張っています。



栄養相談室

栄養管理室部門紹介

栄養管理室長 原 義隆



メタボリックシンドロームを防ぐための食事(第1回)

「最近お腹がメタボってきたよな～」なんてお宅のご主人おっしゃってないですか？

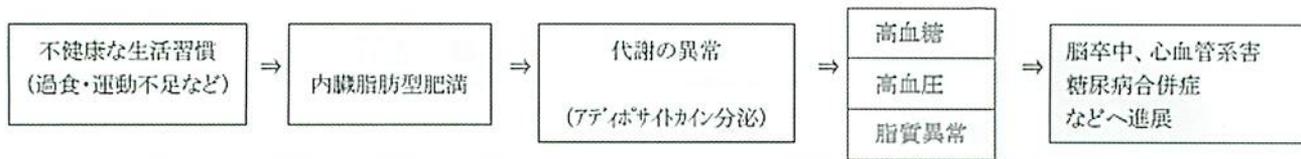
今回は、各方面でも話題となっております「メタボリックシンドローム」を防ぐための食事(第1回)と題してお話ししたいと思います。

まず、厚生労働省で発表された平成17年度国民健康・栄養調査結果では、中高年以降のメタボリックシンドロームやその予備軍は、男性で2人に1人、女性で5人に1人であり、その総数は有病者が920万人、予備軍が980万人で、合計約1,900万人に達しております。

下の表に示すように、不健康な生活習慣から蓄積された余剰なエネルギーが内臓脂肪となり、増大した内臓脂肪から動脈硬化促進因子(アディポサイトカイン)を放出し、徐々に動脈硬化をすすめていきます。

「不健康な生活習慣」とは、どのようなことでしょうか？皆様も「こんなこと？」と思いがたることがあるのではないのでしょうか。

不健康な生活習慣が心血管系障害を引き起こす



例えば、仕事に間に合わないから朝食はヌキとか、あまり体を動かす習慣がないとか、間食は友達とケーキセットとか、夕食は仲間と一杯(アルコール)で仕上げはラーメンとか、夜食はアイスクリームとか、夜更かしなど睡眠時間が十分とれない、喫煙習慣がある…などなど。

まず大事なのは、この習慣の行動変容であるといえるでしょう。

メタボリックシンドロームの改善には、「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」といわれており、日々継続できる運動と、食習慣の改善が重要だと言われております。

日常出来る運動といえば、つい使ってしまうエレベータから階段を使ってみるのはいかがでしょう。それが出来たら次は、ウォーキングはどうでしょう。まずは出来ることから初めてみて、徐々に増加できると良いですね。また、運動は食後血糖値が上昇する1時間後くらいが効果的です。

食事については、まず飲酒の習慣がある方は、休肝日をつくってみてはいかがでしょうか。また、寝る前間食は、水分(麦茶・ほうじ茶)にしてはいかがでしょうか。

メタボリックシンドロームの基となる各症状における食事面での注意点は、次号以降お話ししたいと思います。すべてに共通する事として、「野菜不足」があげられます。

野菜は、1日350g、目安は小鉢程度(手の拳1つ分)の野菜料理を2品以上、毎食食べることをおすすめします。

まずは「運動」と、夕食・間食の改善と、野菜不足解消から始めてみましょう。

メタボリックシンドロームの予防・改善には
1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ

野菜は1日350g食べましょう



※野菜は、毎食必ず食べる。食卓に必ず野菜を盛り、毎食必ず野菜を2品以上食べる。野菜は、毎食必ず食べる。食卓に必ず野菜を盛り、毎食必ず野菜を2品以上食べる。

アラカルト

メタボリックシンドローム
(代謝症候群)について

内科系診療部長

渡邊 吉康

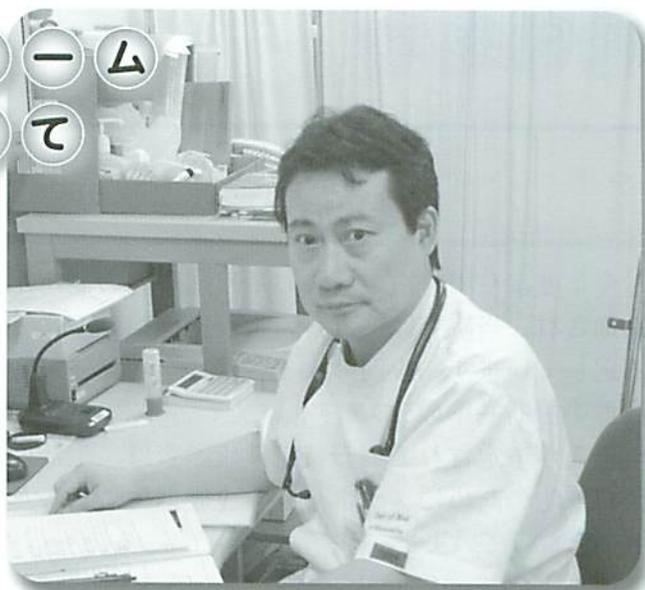
健康について、最近の最も大きな話題は「メタボリックシンドローム（代謝症候群）」だと思います。メタボリックシンドロームとは、生活習慣病について積み重ねられた疫学的な研究、最新の遺伝子研究や分子生物学的な研究の結果から導き出された概念です。一般に内臓脂肪症候群ともいわれます。内臓脂肪とは簡単にいうと胃や小腸、大腸などの臓器のまわりについている脂肪のことです。

食べ過ぎや運動不足、不規則な生活など生活習慣が乱れることが続くと、まず肥満が起きます。肥満になり内臓脂肪が蓄積すると、体の働きを調整するさまざまなホルモンの作用に狂いが生じてきます。

内臓脂肪に関係する脂肪細胞は、様々な生理活性物質（ホルモンの一種）を産生し分泌する働きがあり、これらの活性物質が糖代謝を阻害したり、血圧を上昇させたり、脂肪代謝を阻害したり、動脈硬化を抑制する動きを弱めたりして、生活習慣病を発症させる原因となることが分かってきました。その中でも血液中の糖を細胞が取り込んで利用できるようにするインスリンという糖代謝の中心となるホルモンの働きが悪くなる状態をインスリン抵抗性といい、研究の結果、糖尿病の原因となるほかに、高血圧症、高脂血症を引き起こす原因となる重大な病態であることが分かりました。

インスリン抵抗性が中心となって代謝障害による病態が進行すると、食後高血糖から進行して糖尿病を発症したり、高血圧症、高脂血症（高中性脂肪血症、低HDLコレステロール血症）を発症して全身の動脈硬化が進んで、最終的には虚血性心疾患や脳血管障害などの発症につながっていきます。また、糖尿病の進行は、やがて有名な糖尿病の三大合併症である腎症、網膜症、神経症を引き起こします。

以上のような病態が解明されてきたため、内臓脂肪蓄積型肥満に加えて高血圧、高血糖、高脂血



症のうちの2つ以上をあわせ持つ状態をメタボリックシンドロームと呼び、生活習慣病を発症させる危険な状態であるという概念が提唱されるようになりました。

日本のメタボリックシンドロームの診断基準は、内臓脂肪の量を基準に組み入れるねらいでCT上の内臓脂肪断面積を考慮に入れたため、WHOやアメリカの基準とは異なる診断基準となっています。内臓脂肪を評価する腹囲の基準については、本邦でも未だ多くの異論があり、現在の診断基準は今後見直しがなされることになるとは思われますが、基本となる考え方はご理解いただけることと思います。

メタボリックシンドロームは、まだ生活習慣病発症の前の、病気でない状態をもとらえた概念です。高血圧症、糖尿病、高脂血症の兆候を早期にとらえて対策を講ずることで生活習慣病を予防することがこの提唱の目的です。

また、内臓脂肪の解消やライフスタイルの調整は、すでに高血圧症、糖尿病、高脂血症、肥満症、心血管疾患、脳血管疾患などの疾患で治療を受けている人にとっても、不可欠な基礎療法でもあります。

食生活の是正、適度な運動、規則正しい生活など、ライフスタイルを調整することでメタボリックシンドロームに陥ることを予防し、理想的な身体作りと健康の増進を心がけましょう。

メタボリック症候群と 臨床検査

臨床検査技師

吉田 龍矢

今年度より甲府市の検診の項目に腹囲の測定が追加され、当院では検査科の生理機能検査室にて測定しています。腹囲の大きさはメタボリック症候群の診断基準の1つです。また、平成20年度から導入が予定されている特定健康診査は、生活習慣病予防のためにメタボリック症候群に着目したものとされています。

メタボリック症候群の診断基準

メタボリック症候群と診断されるのは、腹囲の増大に加えて高血糖、高血圧、脂質異常のうち2つ以上の項目があてはまるときです。日本内科学会など国内8学会が2005年に作った診断基準では、腹囲の大きさは男性85cm以上、女性90cm以上とされています。

腹囲の測定

腹囲の大きさは、内臓脂肪蓄積の代用指標になります。日常診療や一般の方にも簡便でわかりやすい項目として腹囲が一次スクリーニングに使われています。そこで、数値を絶対視するのではなく、継続的にチェックして値の変化を見ていくのに適しているといえます。

腹囲の測定については、メジャーがあれば簡単に測定できます。自宅でも試すことができるかと思えます。測定は立った姿勢で息を吐き、両腕を



だらりと下ろしおなかの力を抜いた状態で、おへその位置にて測ります。また、食事の影響を受けないように食後を避けて測定します。

内臓脂肪

脂肪細胞は、単に摂取した余剰のエネルギーをトリグリセリドに変えて貯える倉庫のような受動的な細胞と考えられてきました。しかし、脂肪細胞には多彩なサイトカイン（生理活性物質）の産生分泌機能があり、これらのサイトカインの産生、分泌異常が高血糖、脂質代謝異常、高血圧などを引き起こすことが判明してきました。

おわりに

食欲の秋となりますが、みなさん食べすぎには気をつけて腹囲の測定をしてみたいはいかがでしょうか。こちよい秋の風を感じながら体に合った適度な運動を心がけてはいかがでしょうか。

急激な運動をすると心臓に負担がかかることがありますので無理をしないで下さい。十分な水分の補給も忘れずに、持病のある方は医師の指導のもとで行ってください。

メタボリック症候群の診断基準

必須項目

内臓脂肪蓄積	
腹囲	男性……85cm以上 女性……90cm以上
(内臓脂肪蓄積面積 男女とも100cm ² 以上に相当)	

+

選択項目（これらの項目のうち2項目以上）

①脂質異常	
中性脂肪値	150mg/dL以上
かつ/または	
HDLコレステロール値	40mg/dL未満

②高血糖	
空腹時血糖値	110mg/dL以上

③高血圧	
収縮期（最高）血圧	130mmHg以上
かつ/または	
拡張期（最低）血圧	85mmHg以上

脳神経外科のご案内

脳神経外科専門医（院長） 長沼 博文



外 来：水曜日以外の週4日午前中外来を開いています。頭痛、生活習慣病に関連した脳卒中、頭部外傷など脳神経外科疾患一般に対応しています。

入 院：当院の3名の内科医（内分泌・代謝が専門）と共同で脳卒中の入院治療を行っています。

脳ドック：MRI検査を用いた脳ドックを行っています。火曜日と金曜日に受け付けています。MRA検査による脳と頸部の血管撮影も行い、脳動脈瘤や動脈の狭窄などをチェックします。いずれも生活習慣病（メタボリック症候群）に伴う脳卒中の予防が主な目的です。

平成19年8月脳ドック検査件数が100例に達し、以下その分析を行いました。

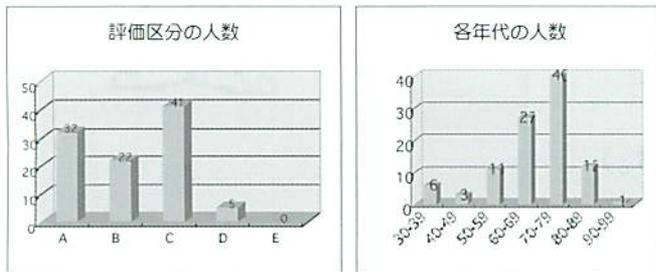


図1

図1の評価区分は、A：正常範囲；B：所見はあるが、今のところ心配無し；C：再検査及び医師の観察が必要；D:精密検査が必要；E：医師による管理、治療が必要、です。

図2は、受診した年齢層を示していますが、60、70歳代が多く受診しています。

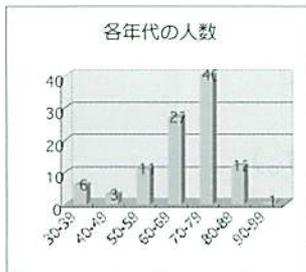


図2

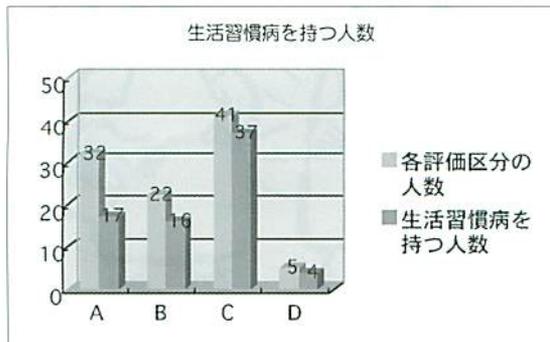


図3

図3は、各評価区分のうち生活習慣病（高血圧、

糖尿病、高脂血症）を持つ人の割合を示しています。評価B、C、Dでは生活習慣病を持つ人の割合が評価Aの人に比べ多くなっています。

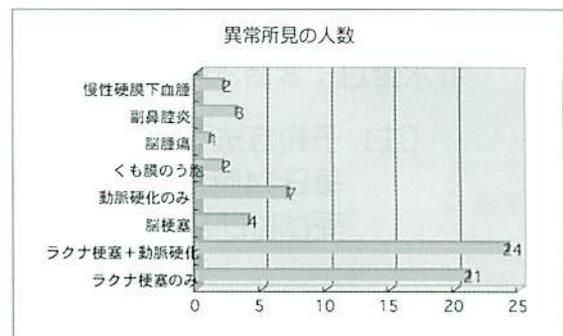


図4

図4は、異常所見の内容を示したものです。脳血管障害が多く、その中でもラクナ梗塞が多く見られます。慢性硬膜下血腫が2例見つかりましたが、手術は必要とせず経過観察で軽快しつつあります。動脈硬化の中には、頸動脈狭窄もみられ、1例では両側の内頸動脈起始部の狭窄があり、高血圧と高脂血症がありました。また、他の1例では、高脂血症があり脳血管の広汎な狭窄を認めました。それら2例とも高脂血症に対する治療を開始しております。

脳腫瘍の1例は、小さな聴神経腫瘍で経過観察となっています。

お知らせ

助産師外来の開設のお知らせ

10月1日より「助産師外来」を開設します。
妊娠・出産・産後・お乳のトラブル・子育てについて、
助産師が一人ひとりに合った
保健指導やケアを行います。



1. 外来日・時間

♪保健指導

- 平日：8時30分から17時

♪乳房ケア（予約制）

- 火曜日：8時30分から12時
- 水曜日：8時30分から17時

(注) 予約方法
毎日14時から16時に産科外来で
受け付けます。
(電話予約も受けます。)



2. 場所

♪外来棟2階 助産師外来

3. 料金

♪保健指導

- 2,000円

♪乳房ケア

- 30分以内 3,000円
- 60分以内 6,000円



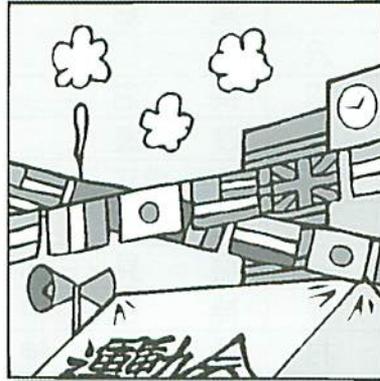
※詳細については、助産師外来スタッフにお尋ねください。

催し物

重症心身障害病棟 ふれあい大運動会

19年10月3日(水)13:00~15:30
(詳細未定)に重症心身障害病棟グラウンド
で「ふれあい大運動会」が行われます。

入院生活が長い障害者(児)の方約
120名が、はりきって秋の清々しい
気候の中で体を動かします。笑いや
感動があります。



昨年の運動会の様子

環境美化ボランティアを募集しています

●活動内容

病院敷地内の清掃、
除草、
花壇整備等

●申込先

国立病院機構甲府病院
事務部管理課 長野
TEL 055-253-6131
内線 2311
FAX 055-251-5597



平成19年度一日平均患者数

入院 ※9月分及び年度累計は9月26日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	107.0	108.6	109.5	98.3	94.3	111.0							104.5
重心	119.8	120.0	118.9	119.5	118.6	117.6							119.1
計	226.8	228.5	228.3	217.8	212.8	228.3							223.6

外来 ※9月分及び年度累計は9月26日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	305.5	302.2	303.5	313.9	283.0	314.1							302.9

外来医師担当表

平成19年10月1日現在

		月	火	水	木	金
内科	1	渡 邊	川 口	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	川 口	黒 澤
	3		尾 畑		中 尾	
	4	金 沢				
脳外科	5	長 沼	長 沼		長 沼	長 沼
特殊外来 午後3時～			渡 邊			
精神科			平野・塩江			
消化器科		稲 岡	稲 岡	大 塚		肝臓専門 外 采 鈴木
小児科	1	久 富	稲 見	加 藤	久 富	田 口
	3	中 根	神 谷	中 村	中 根	野 口
神経外来(午後)		中 村	野 口	神 谷		中 根
摂食外来(午後)					第2週 神谷 第3週 小野	
外科		鈴 木	角 田	角 田	鈴 木	角 田
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野	若 生	若 生	萩 野	萩 野
	2	若 生	落 合	落 合	戸野塚(久)	落 合
泌尿器科		相 川	萱 沼	相 川	相 川	相 川
産婦人科	1	深 田	深 田	高 木	深 田	深 田
	2	伊 東	高 木	伊 東	伊 東	高 木
	3	朝 田				朝 田
眼科			戸野塚(敏)	関 根		今澤(入院)
耳鼻咽喉科					矢 崎	

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
 ※乳児健診/毎週 火・木曜日(完全予約制) ※人間ドック/毎週 火・木曜日 脳ドック/毎週 火・金曜日
 ※予防接種(小児科)/毎週 水曜日(完全予約制) ※毎月第4金曜日/黒澤医師 糖尿病教室

募 集

◇周産期新生児専門医コース

- 対象：小児科専門医
- 期間：6ヶ月間の国立成育医療センターでの研修を含め、3年間。
- 募集人員：若干名
- 身分：常勤医師
- 指導医：副院長 久富 幹則(暫定指導医)

◇周産期母体胎児専門医コース

- 対象：産婦人科専門医
- 期間：6ヶ月間の国立成育医療センターでの研修を含め、3年間。
- 募集人員：若干名
- 身分：常勤医師
- 指導医：外科系診療部長 深田 幸仁(暫定指導医)

◇整形外科後期臨床研修コース

- 対象：原則、卒業後3～5年の医師
 - 期間：3年間
 - 募集人員：2名
 - 身分：常勤医師
 - 指導医：整形外科部長 萩野 哲男(診療科経験年数18年)
落合 聡司(診療科経験年数9年)
- ※その他医師を募集しています。

お問い合わせ先 独立行政法人国立病院機構
甲府病院 管理課庶務係
TEL 055-253-6131(代表)

看護職員を募集しています。

お問い合わせ先 看護部長室
TEL 055-253-6131(代表) FAX 055-251-5597

編 集 後 記

まだまだ暑い日もありますが、すっかり秋めいて風を感じる季節になりました。食欲の秋は食べ物が美味しい季節です。でも、メタボリックシンドロームには気をつけましょう。スポーツの秋でもありますので、楽しく身体を動かして体脂肪を減らしましょう。ご意見ご要望などございましたら編集委員まで

編集委員 荒 義昭